

「日本は二大政党制になれるか？」

総合政策学部

スティーブン・R・リード先生 ご紹介



アメリカ、インディアナ州に生まれる。ベトナム戦争時代に兵役の関係で来訪、九州の地で奥様美智子さんと知り合い結婚。帰国後ミシガン大学の大学院で、比較政治学について研究、その後ハーバード大学、アラバマ大学などで教鞭をとる。愛娘1人。中央大学総合政策学部の開設とともに中央大学勤務。この時点で、3人家族は、ご主人が日本に生活、奥様は仕事の関係でアメリカに残り、娘さんはカナダの大学院で研究活動を開始したため、それぞれが生まれた国に住まない「超国際派ファミリー」。現在は奥様が日本に戻り、夫婦二人暮らし。娘さんは結婚してアメリカに在住。大のバスケットファンで、NBAの話を始めれば、話が尽きない。二つの立場（独裁と民主）を演じながら行う授業や試験問題をサイコロで確定するなど、ユニークな授業に学生達から人気が高い。

(広報課 渡辺記)

日本は、イタリアに次いで、先進国中の政治汚職の大国である。1949年の「昭和電工」、1955年の「造船疑獄」、1967年の「黒い霧」、1976年の「ロッキード」、1989年の「リクルート」、1993年の「佐川急便」などに見えるように、汚職事件が争点になる選挙が多い。汚職事件の後で政治改革が必ず話題になるが、1994年まで大した政治改革が実現できなかった。政治腐敗の最も効く薬は政権交代とされている。そして、日本はその例外ではない。1993年総選挙の「新党ブーム」によって、39年ぶりの政権交代ができた。三新党（日本新党、新生党、新党さきがけ）の躍進によって、非自民・非共産の細川連立政権ができ、自民党が下野した。細川連立政権に参加した政党は多様で、共通の政策・意見が一致したのは政治改革の必要性のみであった。政治改革を実現した後、すぐ崩壊した。

政治腐敗を無くすには・・・?

政治腐敗には政権交代が最も効果あり。

問題が起こる度に政治への期待が薄れるが・・・?

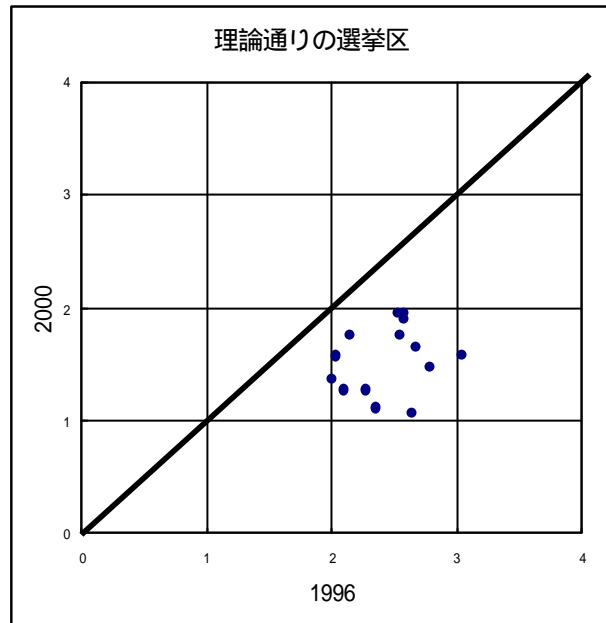
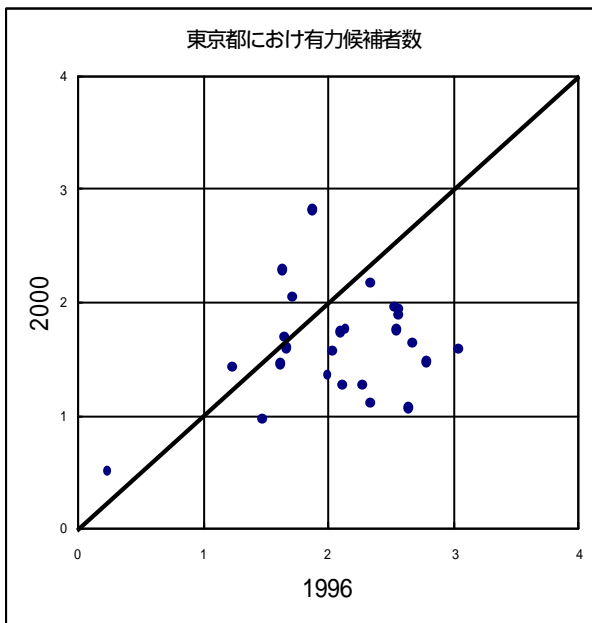
諦めること無く、怒りなさい。

戦後の政治改革案の中心は常に選挙制度の改革であったし、常に小選挙区制を中心とした改革案であった。小選挙区制の目的は政権交代の多い二大政党制である。政権交代は政治腐敗の最も効く薬であるから、薬がたびたび飲めるような二大政党制に期待できるであろう。そして、その科学的な根拠は「デュヴェルジェの法則」である。「デュヴェルジェの法則」によると小選挙区制は二大政党制を生むという仮説。政治学の中で、議論が続いているにしても、最も信頼できる法則の一つである。

政治改革は、成功したのか？

マスコミのような短期的な視野で判断してはいけない。

新しい選挙制度では既に二回選挙を実施し、政治改革が完全に失敗したような絶望感が一般的であるが、政治改革後に絶望することは確実。期待通りに機能した政治改革は世界史に一度もない。最近政治改革を実施したイタリアとニュージーランドでも同様に絶望している。絶望の理由は様々だが、根本的な問題は政治改革の効果が時間かかることにある。特にマスコミの評価は視野が短く、絶望的になる傾向が強い。もう少し科学的に分析したら、日本の政党制は二大政党制へ向かっていると思われる。「デュヴェルジェの法則」は日本でも機能しているし、政治改革は成功していると思う。



八王子の選挙区は、二大政党の方向に進んでいるのか？

有力候補者数が減少し、一騎打ちムードが生まれている。

日本の政党は二つ以上であるが、自民党中心の与党側と民主党中心の野党側の「二大連立制」に進化しつつある。各選挙区に、与党の候補者一人対野党の候補者一人という「一騎打ち」が多くなりつつある。新選挙制度の選挙を繰り返すことによって、日本の有権者の選択肢が与党か野党かに絞っていく傾向が強くなる。そして、有権者が野党を選んだ場合、政権交代が多くなると思う。

理論通りの選挙区 = 22区 = 八王子市

名前	政党	1996.10.20	%		名前	政党	2000.6.25	%	
小林多門	自民	75,061	19.49	当	阿久津幸彦	民主	106,292	25.82	当
高木陽介	新進	64,730	16.81	落	小林多門	自民	95,102	23.10	落
阿久津幸彦	民主	50,067	13.00	落	藤本実	共産	37,492	9.11	落
武山健二郎	共産	30,965	8.04	落					
投票者数		220,823	57.33		投票者数		238,886	58.03	
有権者数		385,171	100.00		有権者数		411,640	100.00	

首相を国民が選ぶとしたら、良い方向に向かうのでは？

政党の力が弱くなる。これ以上弱い政党を欲しているのか？

選挙に行く価値があるのか？

一票の大切さは、代議士が一番恐れているもの。 例え批判票となっても決して無駄ではない。

選挙に行きましょう！

